

シリーズ 第82回 人権



見えない障がい

私が社会人として働き出し、さまざまな人と関わってきた中で、障がいのある人との出会いがありました。出会った当初は分かりませんでしたが、後日、体の内部に障がいがあることを本人から聞きました。その時、外見からは分からない障がいがあることを知り、とても驚いたことを覚えています。

本人の話から、障がいがあることに気付かれないため、周囲の人からの理解を得ることが難しく、仕事や日常生活にも支障を来していることが分かりました。また、時には冷たい言葉を掛けられ「自分は役に立たない」と思い込んでしまうこともあるということでした。その事実を聞き、自分自身もつらく悲しい気持ちになりました。

その人との出会いを通して、相手の気持ちを正しく理解していると思い込んでいる自分に気付き、私の言動が障がいのある人に生きづらさを感じさせてしまっていたのではないかなと思うようになりました。

そこで、障がいに対する理解不足や社会が作り出している障壁を無くせないかと考えるようになりました。その一方で、自分一人の力ではなかなか難しいとも感じていました。そんな時、インターネットでヘルプマーク※の存在を知りました。これは当事者に配布されるものですが、さらに調べていくと、ヘルプマークとは別に啓発用として当事者以外が持てるバッジがあることも分かり、私は一つ手に入れました。このヘルプマークや啓発バッジを通じ

て、人と人がつながるきっかけが生まれればいいなと思います。私もこのバッジを身に付け、その意味をいろいろな人に話していきたいです。

私は、障がいのある人との出会いから、その人に生きづらさを感じさせているものが何なのか、そして、自分には何ができるかを考えることができました。これからも、障がいの有無にかかわらず、人ときちんと向き合い、対話していこうと思います。

(30代・男性)

※ヘルプマークは、援助や配慮を必要としている障がいのある人や病気の人が、日常生活や災害時で困った時に周囲に示し、支援や理解を求めやすくするマークです。



人権 豆知識

知っていますか？ 障害者差別解消法

平成28年4月に、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)が施行されました。

この法律は、障がいの有無にかかわらず、誰もがお互いに人格と個性を尊重し合いながら、共に生きる社会の実現を目指しています。